

ぱんだ・ぞうぐみだよい

きらら保育園
令和7年11月1日発行



朝晩冷え込む日も増えてきましたが、子どもたちは元気いっぱい体を動かすことを楽しんでいます。寒暖差に注意しながら、子どもたちが元気に過ごせるように配慮していきたいと思います。

10月はうさぎさんと一緒にこまち公園へ園外保育、太平のケアセンターきららの畑にさつまいも掘り、能代エナジアムパークへ遠足に行ってきました。

ハロウィンでは、子どもたちが自分で好きなキャラクターの衣装を作り、手作りバックを持って通町の商店街を歩いてきました。商店街の方々がお店の中から手を振ってくれたり、すれ違う方が「かわいいね」と言ってくれたり、子どもたちも嬉しそうでした。31日には、館内でダンスを披露し、おじいちゃんおばあちゃんふれあいながら、お菓子をもらってきましたよ！



こまち公園では体を動かすことを楽しみました。何度も鉄棒で前回りに挑戦したり、公園内の山を駆けあがったり、おもいっきり走ったりなど、お外遊びを満喫しました！

バスに乗る時や公園で、うさぎ組さんの小さなお友だちを気遣う姿も見られ、優しい気持ちがたくさん育っていることに嬉しくなりました♥



10月の秋晴れの日に、すこやか保育園の4歳児のお友だちと一緒に、さつまいも掘りに行きました。春に植えた小さな苗はぐんぐん成長し、つるが畠いっぱいに伸びていました。最初につるを抜いたのですが、一人で引っ張っても全然抜けず、みんなで「うんとこしょ どっこいしょ」とまるで綱引きしているようでした。つるをとるとおいもが顔を出し、子どもたちは大歓声を上げ喜んでいました。一生懸命土を寄せて、出てきた大きなさつまいもを抱え、「大きいのが取れたよ」「重くて持てない」と泥んこも気にせずに、たくさん収穫していました。土の中からはさつまいもだけではなく、ミミズやハサミ虫なども出てきて、そのたびに大喜びする子どもたちでした。土の感触、収穫の喜びを全身で感じたひと時でした。いもほり後は、ケアセンターのおじいちゃんおばあちゃんの前でお礼の歌を歌い、子どもたちの元気パワーを分けてあげました。

ケアセンターの方は子どもたちのために、一生懸命にさつまいもの育て方を勉強しながら育ててくれたそうです。本当にありがとうございました。



能代エナジアムパークに遠足に行ってきました

数日前から、どんな場所かな？お弁当は何にしようか？おやつは何を買おうかな？と楽しみにしていました遠足。前日は、「嬉しそうで、眠れないかも」「ドキドキしそう」など、期待感も膨らんでいました。

パーク内のウエルカムホールにはロボットの「LAVOT（ラボット）」がいて、名前を呼ぶとそばに来て、鼻のボタンを押すと喜ぶ姿に、子どもたちも夢中でした。熱帯植物園では、ジャングル体験のような気分でバナナの木、パイナップル探しをしました。大きな恐竜はちょっと怖かったけど、遊具や絵本もたくさんあり大満足の子どもたち。「めっちゃ楽しいところだった」「また来たい」「お弁当おいしかった」「ママにありがとう言わなきゃ」と、子どもたちの感想から、充実感や感謝の気持ちがあふれていました。お忙しい中、お弁当、おやつの用意にご協力いただき、本当にありがとうございました。

